



いくせい通信

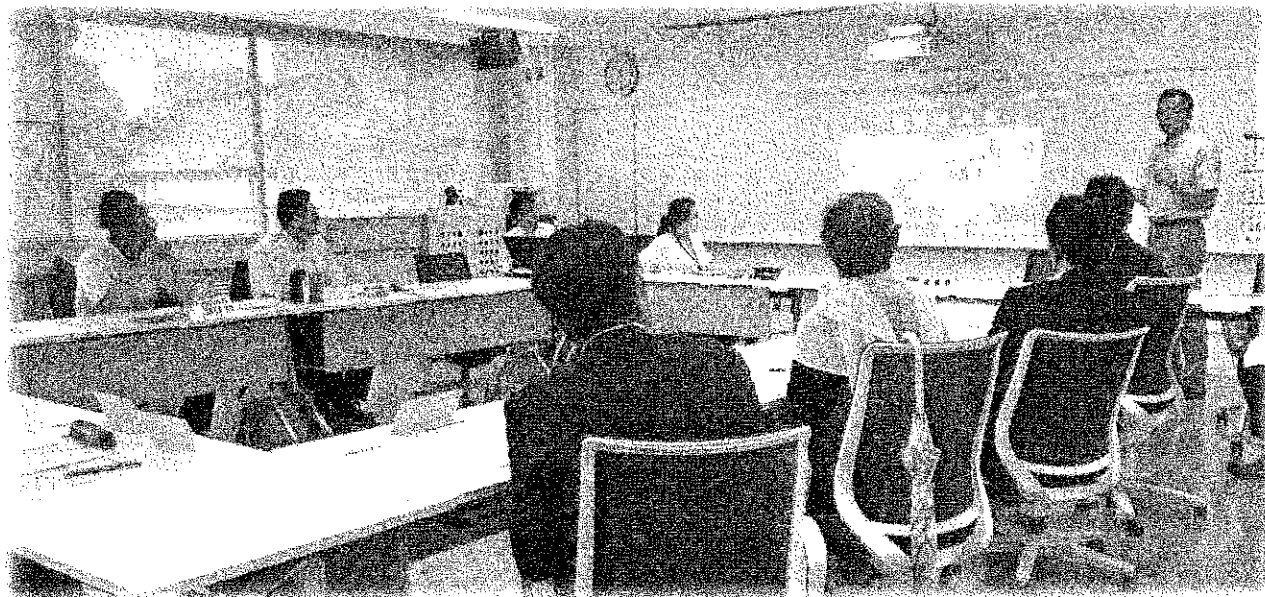
Smile up!

～夏休み中のSNS～

2025.07.23

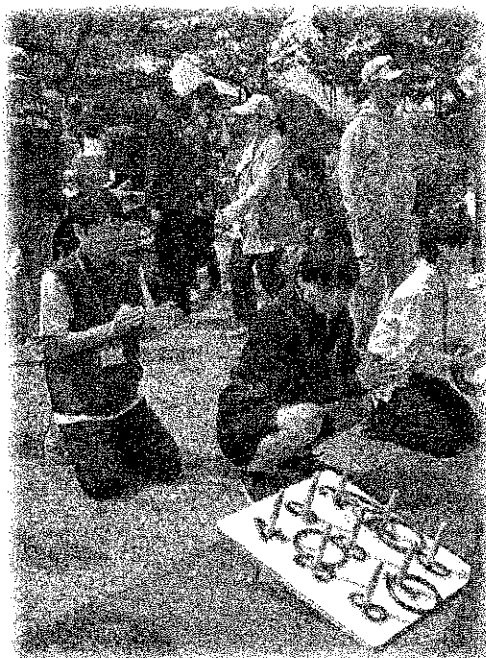
No. 4

酒田市青少年指導センター
酒田市中心西町2-59
Tel. 0234-24-2901



青少年指導センター運営委員会

今回の運営委員会では、大変活発な情報・意見交換がなされました。特に「不登校」に関わっての話し合いが行われました。現在の小中高等学校での対応や様子、酒田市教育局の対応など、いろんな方面からの情報が寄せられました。



指導センターが直接不登校に関わることはないのですが、ある委員からは、以前、子どもまつりボランティアに、不登校傾向の生徒さんが参加して、とても輝いて活動していたという話もありました。

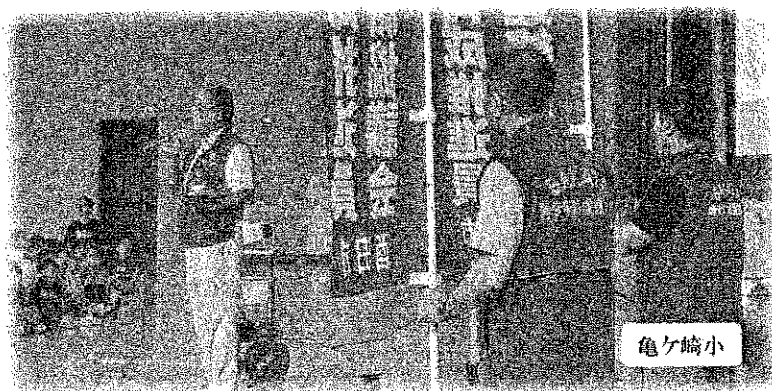
子どもたちの“学び”は何も学校だけで行われるものではありません。まさに多様な学びは地域活動の中だったり、スポーツの最中だったり、もしかすると読書や趣味の中にも存在したりします。自分の好きなこと、夢中になるようなことって、自ら学ぼうとするので、それこそ人生の糧となって心に残っていたりするものです。赤坂教育長が酒田市のめざす学校は「楽しい学校だ!」とおっしゃっていましたが、学校(授業)が楽しいものであれば子どもたちは主体的に学び、きっとホンモノの学力も上がるはずです。

ただし、「楽しい」というのは“面白可笑しい”とか“ゲーム感覚”とか、そういうオモシロさではないと思います。もしかするとそれは、非常に難しい問題だったり、子どもたちにとって困るようなことだったり、だけどやりがいがあったりするものかもしれません。実際自分のやっていることが誰かのためになっているとか、感謝されたり「いいね」の評価をされたりすることで、人はやる気を出したり動き出したりしますよね。だから子どもまつりボランティアも、高校生がただ「オモシロかった！」だけでは“学び”になりません。

さて、今後指導センターがどのような存在であればいいか、またご意見をお聞かせいただければありがたいです。



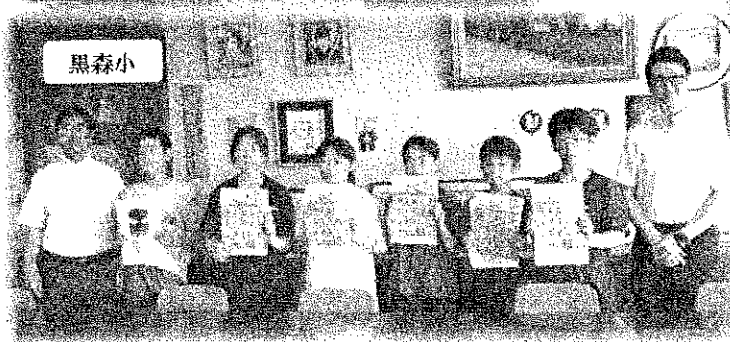
「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にちなんで～啓発活動



亀ヶ崎小



東部中



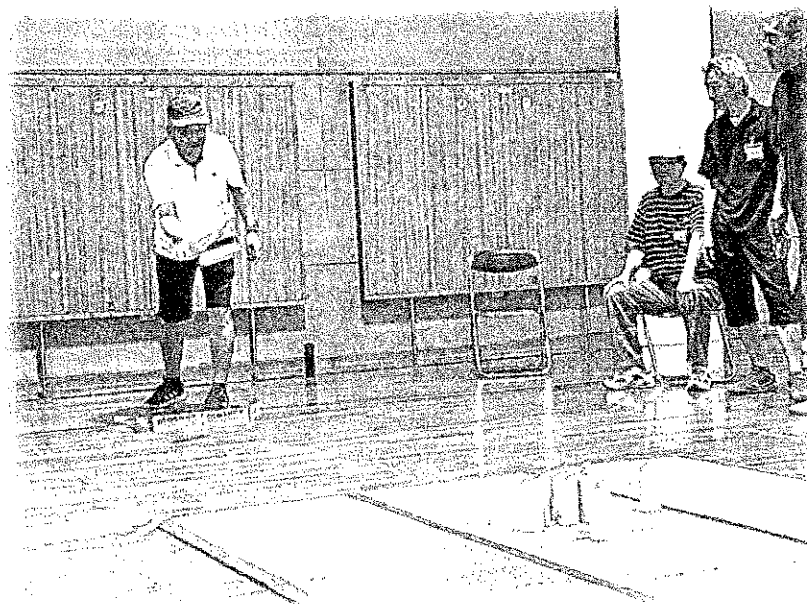
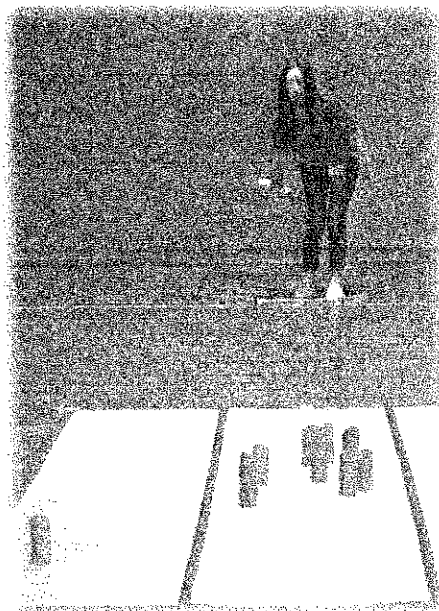
黒森小



酒田一中

こども家庭庁では、毎年子どもたちが夏休みに入る前の7月を標記のような強調月間に位置付け、青少年の非行・被害防止のための活動を全国で集中的に実施しています。

酒田市でも青少協と指導センターが中心になり、小中学校におじゃまさせていただき、子どもたちに非行・被害防止に関わる呼びかけをさせていただいていますが、今年度は「琢成小・一中」「亀ヶ崎小・三中」「南平田小・東部中」「黒森小・四中」を訪問いたしました。ご協力いただきました小中学校、そして推進員のみなさん、本当にありがとうございました。



地域活動研修会・懇親会(〇〇杯争奪モルック大会)

7月12日(土)、文化センター3階の体育館にて青少協モルック大会を開催しました。当日は、OBを含め24名のみなさんが参加してくださいました。4人ずつの6チームに分かれて、〇〇杯を目指して(?)奮闘しました。

この「〇〇杯」というのは、参加者がおのの賞品となるようなものを持ち寄り、順位に応じてガチャでくじ引きをして、その賞品をいただくというシステムです。賞品は手作りの作品だったり、ゲーセンで獲ったドローンだったり、中には自分で持ってきた賞品を引き当てる方もいました。

また、今回参加できなかった推進員・OBから特別な賞品を預かっていたので、それもガチャのくじ引きで争奪(笑)することにしました。そうしたら、ブービー賞に準備した「お米1kg」を引き当てたのが、今回の大会で全く得点できずファールや失敗の連続だった某推進員だったので大笑いです！

終わってから、何人かの参加者から「またやろう！」と声をかけていただきました。モルック自体が面白かったのはもちろんですが、何よりも人が集い、ワイワイガヤガヤとおしゃべりをしたり大きな声を出したりしたのが楽しかったのではないかと思います。こういう楽しさを地域の青少年育成活動に役立てていただけたらというのが今回の研修会のねらいです。地域活動を進めていく上では、あまり難しく考えず、今回のように参加しているみなさんが楽しんでいることが大事なんだと思います。

なお、優勝チームは蘆田会長率いる「ピンクチーム」でした。



お米1kgをゲットした某推進員のショット

ただし、「楽しい」というのは“面白可笑しい”とか“ゲーム感覚”とか、そういうオモシロさではないと思います。もしかするとそれは、非常に難しい問題だったり、子どもたちにとって困るようなことだったり、だけどやりがいがあったりするものかもしれません。実際自分のやっていることが誰かのためになっているとか、感謝されたり「いいね」の評価をされたりすることで、人はやる気を出したり動き出したりしますよね。だから子どもまつりボランティアも、高校生がただ「オモシロかった！」だけでは“学び”になりません。

さて、今後指導センターがどのような存在であればいいか、またご意見をお聞かせいただければありがたいです。



「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にちなんで～啓発活動



亀ヶ崎小

こども家庭庁では、毎年子どもたちが夏休みに入る前の7月を標記のような強調月間に位置付け、青少年の非行・被害防止のための活動を全国で集中的に実施しています。

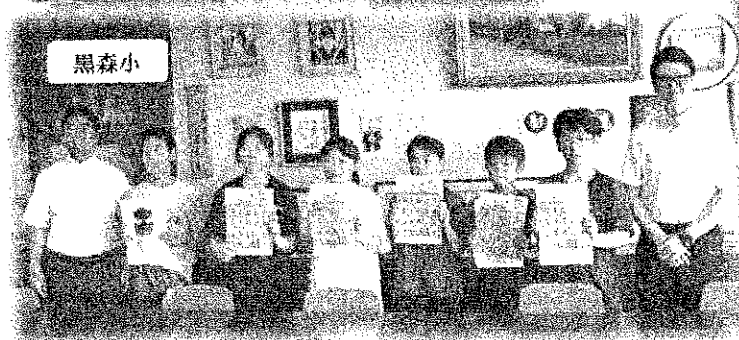
酒田市でも青少協と指導センターが中心になり、小中学校におじゃまさせていただき、子どもたちに非

行・被害防止に関わる呼びかけをさせていただいていますが、今年度は「琢成小・一中」「亀ヶ崎小・三中」

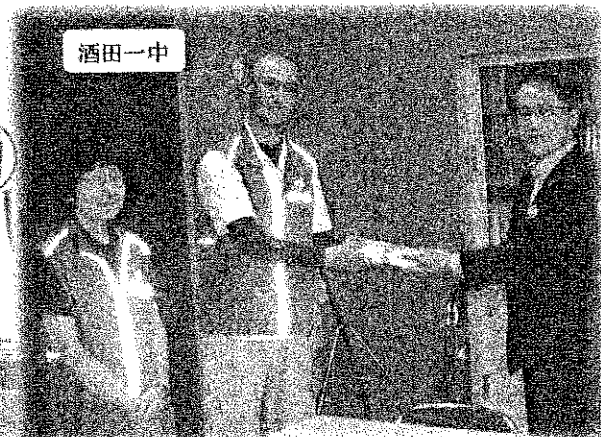
「南平田小・東部中」「黒森小・四中」を訪問いたしました。ご協力いただきました小中学校、そして推進員のみなさん、本当にありがとうございました。



東部中



黒森小



酒田一中